

町田市住みよい街づくり条例が目指す街づくりの全体像

『街づくりプロジェクト』

定義 ●自らの地区・まちの魅力を高める活動や取組み。
・地域資源を活かしながら「地区」や「まち」を「つかう」「なおす」「たもつ」「つくる」「みせる」という行為や活動

支援の目的 まちを良くする多種多様な「街づくりプロジェクト」が市内の各所で活発に展開される

改正のねらい これまでよりも広範な街づくりを支援する（団体支援から活動支援へ）

改正後の街づくり = **ハードの街づくり** × **多様なテーマによる街づくり**

新モビリティ × 高齢者支援
地域の池 × 環境の維持保全
空き家活用 × 地域のつながり支援
公園活用 × 子育て支援

街づくりプロジェクトの支援
*情報発信 *人材・ノウハウ提供 *場・機会の提供

『まちの将来像（ビジョン）』

定義 ●地区の住民や街づくり地区内で活動する団体（街づくりプロジェクト団体）などが集まり、地区でやりたいこと、やり続けたいことなどを話し合いながら、実現したい将来のまちの将来像をとりまとめたもの

支援の目的 まちの将来像（ビジョン）をつくることで、自らの地区・まちを考えるきっかけとし、人と人、団体相互の新しいつながりや活動が生まれる

改正のねらい 仲間づくりや、活動を発展・継続させていく上でのツールにする

やりたいことなどを話し合う中で、人や人、団体相互の新しいつながりや活動が生まれる

まちの将来像（ビジョン）ができ、まちの将来が共有（見える化）できる

<ビジョンのイメージ>
名称：ビジョンの名称
区域：ビジョンの区域
目標：目標とするまちの将来像
方針：目標を実現するための方針
取組みたい具体的な内容
ビジョンの検証・見直しの考え方

（仮）都市づくりのマスタープランに位置づけ

ビジョン作成の支援
*情報発信 *人材・ノウハウ提供 *場・機会の提供

条例改定の経緯

○テーマ型・プロジェクト型支援へ転換の必要性

- ・現行条例は地区の建築ルールを定めるための団体支援が主な対象で、私権制限を伴う「地区街づくりプラン（計画）」を住民間で合意形成するスキームが困難を極め、地域発意の街づくり活動が進捗していない。
- ・「まちだ〇ごと大作戦」でのプロジェクト支援の実績を踏まえ、建築ルールに限らず、まちの価値向上に資する広範な街づくり活動を支援していくことが、自立的な地域運営に有効である。そして、その積み重ねの上で地域の描くまちのビジョンを、（仮称）都市づくりのマスタープランの一部として受け止めていくことが必要である。

新制度と現行制度との違い

○支援する活動の対象が広がる

- ・「まちづくり市民活動」の活動対象としていた「環境保全又は市街地整備にかかる特定のテーマ」を、「地域資源を活かしながら「地区」や「まち」を「つかう」「なおす」「たもつ」「つくる」「みせる」という行為や活動」とすることで、支援する活動の対象を拡大。
- ・ビジョンは、従来のルールづくりだけではなく、さまざまな街づくりの制度や、地区でやりたい「活動」に取り組むなど多様なアウトプットにつながるものであり、より継続的な街づくりを実現することができる。

○団体の支援から活動（プロジェクト）の支援へ

- ・新制度では、市民が取組む活動（プロジェクト）の支援に重きを置く。支援に際して団体規約の提出を求めないなど、活動の負担を軽くする。

○プロセス重視の合意形成

- ・ビジョンは地区の住民や団体等と市と一緒に作成。策定に必要な合意の数値は条例に明記しない。

○ビジョンは（仮称）町田市都市づくりのマスタープランに位置づけられる

「まちの将来像（ビジョン）」の実現

●「まちの将来像（ビジョン）」を実現していくために、具体的な個々の取組みを実施

例)

- 市民がやりたいことへの取組み**
・これまで実施してきた活動の継続など、住民や団体が自主的に実践する取組み
- 公共空間を活用する取組み**
・住民や団体が、公園や道路など、従来とは異なる公共空間の活用を実践する取組み
- 地区のルールづくり等の取組み**
・地区計画、景観形成誘導地区など、関係権利者の合意形成を図りながら地区のルールをつくる取組み
・地区のルールに基づき運用する取組み

【団体ヒアリングより】
・ビジョンに位置付けることにより市で認められた活動となり、活動しやすくなる。

「街づくりプロジェクト（一般型）」として支援

「街づくりプロジェクト（ルールづくり・運用型）」として支援

まちの将来像（ビジョン）作成のメリット

<地区住民・活動団体>

- ・街づくり交流会を通じ、それぞれの想いを知ることで人と人や団体同士のつながりが生まれ、相互に連携や協力がしやすくなり活動が発展する。新たな取組みも生まれる。
- ・市の施策を検討する際の参考になる。

参考資料 1-1

【団体ヒアリングより】
・街づくり交流会により、地域で活動する団体等が集まることでき、新たな活動が生まれるなど期待ができる。
・〇ごと大作戦でつながりの場を作ってくれたことにより、地域にたくさん活動が生まれた。

<市>

- ・より細かなまちの単位で、地区の住民等が考える街づくりの方向性を明確にできる。
- ・住民の具体的な活動に基づいた新たな都市づくり施策の検討につなげることができる。